

栄光園だより
第90号

2013年1月10日発行
発行 栄光園
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話(23)2827
振込口座 01930-2-20748

編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1-7 電話(21)0505

創立61年目の事業開始

理事長 友永 丈一

新年あけましておめでとうござい
ます。

皆様方のご支援のおかげで昨年は栄
光園創立60周年を迎え、12月には大勢
の皆様方をお迎えして記念式典をつつ
がなく挙行することが出来ました。

栄光園の60年を振り返ってみます
と、別府不老町教会の野町牧師、小郷
初代園長をはじめ設立に奔走された
諸先輩方、共に汗を流し築きあげてき
た園関係者、そして何よりも60年間栄
光園を支援し支えて下さった多くの
皆様方あつての「栄光園」だと感謝し
ています。

社会的養護の方針は、温かい愛情と
正しい理解をもった家庭環境のもと
での養育こそ子どもが成長するうえ
で大切のことから、里親制度に力を
入れ推進されています。本園に於い
ても子どもと職員が寄り添える家庭
に近い養育を目指し、2012年3月
小規模グループケア棟と心理棟、親子
生活訓練室を、同年7月には本館2階
をリフォームして小規模グループユ

ニットを2棟づくり、入所児全員が4
グループに分かれ生活を始めました。

子どもの幸せのため何が良いのかを
常に考え、次の目標は、生活技術を身に
着けることが出来、また、家庭的雰囲気
における生活体験や地域社会との関わ
りなど、豊かな生活体験を営むことが
出来るファミリーホーム(施設とは別
の場所に既存の住宅等を活用)設置へ
の取り組みだと考えています。

乳児院では、施設面での対応はまだ
出来ていませんが、子どもと職員の関
わりをより密にすることで、子どもの
発育に大切な愛着の形成を図るため
のグループ編成を行い、養育を始めま
した。施設の整備とともに小規模ユニ
ットでの養育に一日も早く取り組み
たいものです。

青山、野口両保育所に於いても、特
色ある園づくり、そして安心して子
どもを預けることのできる園づくりに
全力を尽くします。

日々変化する社会の中で、その要求
に応えることの出来る施設となるため
には、職員の資質の向上が特に大切だ
と思っています。園内研修は勿論のこと
と、各自がテーマを持ちしっかり研修
できる環境づくりに力を注ぎます。

皆様方ご存じのとおり、園内には多
数のソメイヨシノの大樹が春の来る
のを待っています。池田理事、宇都さ
んのおかげで園内至る所に花が咲い
ています。昨年は晩秋、皇帝ダリアの
見事な花が咲きました。近い将来き
つと皇帝ダリアの名所になることで
しょう。子どもたちに、そして私たち
に四季折々の花を愛でる心のゆとり
ができることを願っています。

**あけまして
おめでと
う
ござい
ます**

いつも社会福祉法人栄光園に対す
る格別のご厚誼を賜り、心から感謝
いたします。

本年も相変わりにませずご指導・ご
支援を賜りたくお願い申し上げます。

2013年 元旦

社会福祉法人 栄光園 理事長 友永 丈一

児童養護施設 栄光園 施設長 江口 敏一

乳児院 栄光園 施設長 吉持 篤信

青山 保育所 所長 小久保次郎

野口 保育所 所長 本庄 智宏

職員 一同

創立60周年記念式典 盛大に催される

法人事務局長 江口 敏一

栄光園創設の経緯については1950
(昭和25)年、米兵と日本女性との混血
児や戦災孤児が甚にあふれているの
に心を痛めた宣教師キャザリン・ステ
イブンス女史の多額な寄付が財団法人
基督教栄光園発足の契機になつた
と記されています。この事業の具体
化は別府不老町教会の牧師野町良夫
や教員である小郷虎市・小福夫妻が
中心となり、1952(昭和27)年乳児
院と児童養護施設の開設となりまし
た。今年には法人設立62年目、事業開始
から60周年に当たります。この間、地
域の方々、行政をはじめ小郷家にかか
わる多くの方々、そして、戦後別府に
常駐した米軍第187空挺部隊の方々の
物心両面の支援がこの事業を軌道に
乗せ、今日あると思っております。

このことを覚え、創立から今日まで
祝し導かれた神様への感謝、これまで
お世話になつてきた方々への感謝、子
どもたちの養育に携わつてきた職員
への感謝、そして、栄光園を巣立ち社
会で立派に貢献している卒園生への
感謝をこめて、創立60周年記念事業を
企画しました。児童養護施設の小規
模化を事業の中心に据え、感謝の思い
を式典に、記念誌として『栄光園60年
の歩み』を出版することができました。
施設の小規模化は、今年、4つのホー

ム、心理棟、親子生活訓練棟を順次開設・改築し、子どもたちは家庭に近い環境で生活できるようになりました。

式典は、12月15日14時より本館2階の大ホールにて、歳末の寒さ厳しく大変ご多忙な中でしたが、別府市長浜田博様はじめ、多くの方々をお招きして、盛大に催すことができました。第1部礼拝では、別府不老町教会牧師齋藤真行様より厳かに神様のメッセージを賜り、第2部式典では、来賓の祝辞を戴き、これまで栄光園を支援してこられた方々へ感謝状を贈呈し、長年養育に携わってきた職員への表彰が続きました。第3部では最近の子どもたちの様子をプロジェクトで紹介



し、乳児院、養護施設の子どものための出し物、最後はクリスマスの降誕劇で締めくくられました。第4部は来賓の方々ともどもたちが一緒にテーブルで楽しいクリスマス会の会食となり、歓びのときの短さを実感したひと時でした。

記念誌『栄光園60年の歩み』の制作は拙速ではありましたが、約100ページ程度の冊子として完成しました。開設時から今日までの栄光園史を走馬灯のように見ることが出来ます。60年のうちの半分以上(35年)は小郷小福園長が担っており、揺るがぬ土台のうえのしっかりした福祉の視点を垣間見ることが出来ます。今後の追加

資料等については次回の記念誌にゆだねますので、資料提供など引き続きご協力戴ければさいわいです。なお、ご希望があれば、無料で頒布しますので、お申し付けください。

これまでの歩みを振り返ってみますと、すべてが神様のお導きと皆様の温かいご協力のたまものであることがわかります。今後時代と社会のニーズに先導的に応える施設づく

りで地域に貢献できることを願っております。



社会福祉法人 栄光園 創立60周年記念式典

2012年12月15日(土) 午後2時

創立60周年記念式典次第

〔第1部〕 礼 拝 (14:00~14:20)

- 司式者 日本キリスト教団別府不老町教会
牧 師 齋藤 真行
奏楽者 社会福祉法人栄光園 青山保育所
保育士 薬師寺 良
- 前 奏 讃 美 歌 234A (むかし主イエスのまきたまいし) 一 同
- 聖書朗読 ルカによる福音書 第2章8~20節
司式者
- 祈 禱 式 辞 司式者
「天には栄光、地には平和」
司式者
- 祈 禱 頌 栄 541 (父み子みたまのおおみ神に) 司式者
一 同
- 祝 禱 後 奏



聖 書

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたの方のために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼いの葉桶の中に寝ている乳呑児を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼いの葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。聞いた者は皆、羊飼いたちの話を不思議に思った。しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話した通りだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

ルカによる福音書 第2章8~20節

〔第2部〕 式 典 (14:20~15:10)

- 召天者記念黙禱 一 同
- 理事長挨拶 社会福祉法人栄光園 理事長 友永 丈一
来賓祝辞 別 府 市 長 浜田 博様
別府市議会議長 松川 峰生様
大分県子ども子育て支援課 課長 伊勢 強志様
大分県児童養護施設協議会 会長 出納 皓雄様
- 来賓紹介
祝電披露
感謝状贈呈 賛助会、一般、建築、物品、奉仕、役職員(表彰状) 各分野代表者 2名
被表彰者代表謝辞 賛助会長 松本 常圃様
- (休 憩)

〔第3部〕 演 劇 (15:30~16:30)

- 讃 美 歌 112 (もろびとこぞりてむかえまつれ) 一 同
- スライド 子どもたちの生活紹介 井 生
アンパンマン体操 乳児院
ソーラン節 児童養護施設
きのこ体操 児童養護施設
聖 劇 児童養護施設
讃 美 歌 109 (きよしこのよるほしはひかり) 一 同
- 閉式の辞
(休 憩)

〔第4部〕 食 事 会 (17:00~18:00)

栄光園創立60周年記念 表彰者

愛隣幼稚園様	賛助会
奥川 芳子様	賛助会
コーワ精起有限会社様	賛助会
佐保会大分支部様	賛助会
中村 里子様	賛助会
中村 峰子様	賛助会
松本 重孝様	賛助会
村津 忠久様	賛助会
山口産業株式会社様	賛助会
いずみの園・栄光園ファミリークラブ様	一般寄付
大宮遊技場組合様	一般寄付
公益法人SBI子ども希望財団様	一般寄付
株式会社O-RID様	一般寄付
亀井 浩様	一般寄付
国際ソロプチミスト大分府内様	一般寄付
ちはら21様	一般寄付
山本 茂好・末子様	一般寄付
木付チト子様	建築寄付
九州電力生活協同組合様	建築寄付
日本基督教団教育委員会様	建築寄付
松本 常圃様	建築寄付
黄瀬 和子様	物品寄付
大分石油商業組合別府支部様	物品寄付
大本歯科医院様	物品寄付
緒方町女性教職員退職現職協議会様	物品寄付
九州アイスクリーム協会様	物品寄付
九州納豆組合大分支部様	物品寄付
千登静会様	物品寄付
直川女性会様	物品寄付
日本鏡餅組合様	物品寄付
ニュードラゴン様	物品寄付
濱田セツ子様	物品寄付
一つ松会様	物品寄付
有限会社きこり様	物品寄付
安東 秀典様	奉仕
エッチ美容室様	奉仕
お話ボランティア様	奉仕
木村写真場様	奉仕
別府溝部学園短期大学様	奉仕
別府中央ライオンズクラブ様	奉仕
別府中央ライオネスクラブ様	奉仕
別府ロータリークラブ様	奉仕
陸上自衛隊別府駐屯地様	奉仕
吉良 頌三様	永年継続元役員
平野 八郎様	永年継続役員
豊永家壽子様	永年継続役員
吉本 安宏様	永年継続役員
小松 厚子様	永年勤続職員
京野 藤雄様	永年勤続職員
中島みゆき様	永年勤続職員
多治見敬子様	永年勤続職員
原田 康子様	永年勤続職員
本庄公多子様	永年勤続職員
木元 優子様	永年勤続職員
本庄 智弘様	永年勤続職員
財前 美佳様	永年勤続職員
吉持 篤信様	永年勤続職員
安西 恵子様	永年勤続職員



栄光園創立60周年記念式典 出席者

濱田 博様	別府市長
松川 峰生様	別府市議会議長
伊勢 強志様	大分県福祉保健部こども子育て支援課課長
矢頭 道三様	中央児童相談所所長
後藤 慎司様	中津児童相談所所長
伊藤 慶典様	別府市福祉保健部長
高木 政嗣様	南立石地区社協会長
小石公二郎様	別府重度障害者センター所長
出納 皓雄様	大分県児童養護施設協議会会長
近藤 功様	別府平和園施設長
久志 敏則様	光の園ソーシャルワーカー
川野 義人様	森の木施設長
田村 寛様	聖ヨゼフ寮施設長
荒木 啓司様	二豊学園園長
澤田 正一様	ふきのとうホーム長
高橋 勉様	大分県社会福祉協議会副会長
飯田 法子様	別府大学短期大学部保育科准教授
溝部 仁様	溝部学園理事長
一丸 哲也様	青山中学校校長
山村英二郎様	南立石小学校校長
升巴 正博様	南石垣支援学校教頭
村津 忠久様	賛助会員
山口 巧様	山口産業株式会社代表取締役／賛助会員
亀井 浩様	支援者
赤嶺 リサ様	ちはら21代表 支援者
筑紫 元耀様	公益法人SBI子ども希望財団事務局長／支援者
古屋 直子様	国際ソロプチミスト大分府内会長代理／支援者
木付チト子様	支援者
濱田セツ子様	支援者
西 謙二様	大分石油商業組合別府支部支部長／支援者
小野みよ子様	直川女性会代表／支援者
三石 太江様	お話ボランティア代表／支援者
池田 紀子様	お話ボランティア／支援者
木村奈良美様	木村写真場代表代理／支援者
永尾 福康様	別府中央ライオンズクラブ会長／支援者
板井 武子様	別府中央ライオネスクラブ会長／支援者
日名子 光様	別府ロータリークラブ会長／支援者
高瀬 順平様	陸上自衛隊別府駐屯地第二中隊長／支援者
高安 淳二様	支援者
松本 常圃様	栄光園賛助会会長
吉良 頌三様	社会福祉法人栄光園元評議員
森分 直樹様	別府教会牧師
奥村美智子様	関係者
稲田 文雄様	関係者
森迫美代子様	関係者
山田満千代様	元職員
長谷川士郎様	元職員
長谷川初子様	元職員
山村久美子様	元職員
友永 丈一様	社会福祉法人栄光園理事長
池田 康雄様	社会福祉法人栄光園理事・評議員
安部 保様	社会福祉法人栄光園理事・評議員
山名 睦子様	社会福祉法人栄光園理事・評議員
齋藤 真行様	社会福祉法人栄光園理事・評議員
江口 敏一様	社会福祉法人栄光園理事・評議員
吉本 安宏様	社会福祉法人栄光園監事
平野 八郎様	社会福祉法人栄光園評議員
山本 美晴様	社会福祉法人栄光園評議員
長野 哲也様	社会福祉法人栄光園評議員
安東 秀典様	社会福祉法人栄光園評議員
細井 勇様	社会福祉法人栄光園評議員

●感謝状贈呈基準

賛助会：賛助会員として長年にわたり栄光園を支えてくださった方
 一般寄付：栄光園の寄付者として、長年または高額の寄付をされた方
 建築寄付：栄光園の今回の改築などで高額の寄付をされた方
 物品寄付：栄光園への物品寄付を長年にわたり続けてくださった方
 奉仕：栄光園の子どもたちに対する奉仕を長年または密度高く継続してくださった方
 永年継続役員：栄光園の理事・監事・評議員を長年にわたり続けてくださった方

●表彰状贈呈基準

永年勤続職員：栄光園の職員として20年以上継続勤務した現職員

児童養護施設

子どもたちの力に「感動」 そして「感謝」

総主任 岡田 豊弘

「ソーラン！ソーラン！」と大声の掛け声、そしてイエス・キリストの生誕を見事に演じた小学生の子どもたち。「キノコ」に扮し、かわいらしく、愛らしく踊った幼児さん。演劇の総合司会を凛凛しくつとめた高校3年

小規模グループケアの取組み

これまで、乳児院での養育形態は3つのグループでの担当制でしたが、職員は各グループを毎日入れ替わるローテーション勤務でした。どちらかと言つと、集団生活に重きを置く養育形態でした。現在、国の方針は、生活単位、養育単位をできるだけ小さくして、小グループ化する政策を打ち出しています。小グループに固定した勤務形態は、職員の人数の確保や負担も多くなりますが、きめの細かい職員と子どもとの関わりが可能になり、愛着の形成や心身の発達にも良い影響が期待できるからです。このよう

なより質の高い子どもの養育を実現するために、今年度4月から理事の池田康雄先生に顧問として入っていただき、小規模グループ化の取組みを始めました。池田先生を中心として検討に検討を重ね、11月から、りす・つさぎ・ぞうの3グループ、そして各グループに5名の職員を固定した小規模グループでの養育をスタートしました。りすグループは月齢の低い子どもたち。うさぎ、ぞうグループは1歳前後から2歳後半までの縦割りの子どもたちです。開始して2カ月が過ぎ、子どもたちと職員の関わりが密になり、より家庭的な養育の成果が出てきています。新しい取組みのため問題点も多々ありますし、感染症の流行る時期を迎え、早速、入院する子どもが出たり、静養室や観察室での生活を余儀なくされ、うさぎ、ぞうグループで一緒の生活の日もあつたりしましたが、子どもたちにとつてより良い乳児院を目指し頑張っています。

現在の乳児院の建物は30年を経過しているの、できることなら早い時期に全面的建替えを行い、国の基準に適合した小規模グループケアを実施したいと考えています。

生の男子。栄光園創立60周年記念式典の主役はやはり子どもたちでした。短い練習期間の中、自分のホームに帰り台詞を何度も、何度も繰り返し覚えていたA君、保育士の姿をじつと見ながらリズムに合わせ、ぎこちなく体をくねくね動かし練習していた3歳のAちゃん。我々の心配をよそに子どもたちは一生懸命練習に取り組んでいました。記念式典の準備に慌てふためき、右往左往していたのは我々の方でした。式典の締めくくりとして登場した

子どもたちのパフォーマーは本当に感動的であり、子どもたちを見ていた全ての大人たちの心をあたたかく包んでいました。

そして、式典に続く夕食会での御馳走を目の当たりにした子どもたちのキラキラした目やサントさんからプレゼントを受け取りはしゃぐ姿は、式典準備の疲労感、厳粛な式典での緊張感で「フラフラ」であつた私にとつては疲れを飛ばし、充実感で満ちていました。本当に子どもたちには感謝の一言です。ありがとうね！



乳児院

「栄光園60周年式典」に参加

心理職 大石 奈央子

2012年12月15日、社会福祉法人栄光園の創立60周年式典の出し物で、乳児院の子どもたちは、ダンスを披露しました。ダンスは、10月から毎朝練習してきた、アンパンマンの「サンサ

ン体操」を踊りました。当日は、おやつを食べた子から、職員の手作りのアンパンマン衣装に着替え、「アンパンマン、着たよ！」といろんな職員に見せて回りみんな大はしゃぎ！女の子は、職員に髪の毛を結んでもらいアンパンマンのゴムやピンをつけて、にっこり笑顔。出番がくるまでの間、みんなで何度も練習して、「1、2、3〜♪」と大きな声で歌いながら出番がくるのを待っていました。

本番では、みんなはじめての舞台なので幕がひらくと、人の多さにびっくり！子どもたちは後ずさりしていましたが、アンパンマンの歌が流れると、いつもよりは控えめでしたが、少しリズムをとって踊る様子も見られました。完璧な踊りではありませんでしたが、みんな泣かずに最後までステージに立つことができました！大きな舞台上初めて立つ子どもたちの姿をみて、子どもたちの成長をたくさん感じられた一日となりました。



青山保育所

新年を迎えました。子どもたちは、寒さもなんのその、元氣一杯に遊んでいます。
 そんな子どもたちの様子をご紹介します。

がんばったよ！運動会

10月に運動会を行いました。秋晴れの運動会日和で、朝早くからたくさん保護者の方が見に来られました。練習の時は、お友達がお客さんだったので、本番当日はお家の方がずらりと並んでいるので、子どもたちはびっくりしているようでした。中には大好きなお家の人が見に来て、いることもあり、練習以上にやる気を出して、頑張っていた子もいました。運動会を通して、子どもたちは「転んでも最後まで頑張る」「友達と協力する」などたくさんを経験し、学びました。この経験が将来大人になつて、きつと役にたつことと思えます。



楽しかった秋の遠足

ぞう組、きりん組、ぺんぎん組2歳児はバスに乗って農業文化公園へ、ぺんぎん組1歳児とうさぎ組は栄光園のグラウンドへ遠足に行ってきました。お天気も良く、広い場所でした。きり遊びました。お家から持ってきたお弁当を嬉しそうにほおばる子どもたちはとても幸せそうでしたよ。



交通安全指導

11月に交通安全指導がありました。交通安全課のお姉さんや地域の交通指導員の方に、横断歩道の渡り方や信号の見方などを教えていただきました。日頃お散歩に行く



きも横断歩道は渡ることがあるので、教えて頂いたことを思い出しながら、安全に道路の横断や歩行をしたいと思えます。

ぺったん、ぺったん、おもちつき

12月の初めに餅つきをしました。おじいちゃんやおばあちゃんに教えてもらいながら杵でついたたり、お餅を丸めたりしました。つきたてのお餅は美味しかったですよ。日頃はあまり食べない子どもたちも顔を真っ白にしながら「おいしく」と食べていました。また、もち米からどんどんお餅になっていく様子を子どもたちは眼を丸くして見ていました。この日は一番の寒さで途中雪が降ったりしましたが、子どもたちはとても楽しかったようでお迎えに来たお家の人にさっそくお話をし、お土産を渡していました。



クリスマス会

「あと何回寝たらサンタさんくるん？」と指折り数えて待っていた子どもたち。実は保育園にサンタクロースから手紙が届き、みんなでお迎えしようとして、クリスマス飾りつけをしていきながら楽しみにしていました。いよいよ当日。5歳児による劇を見たりみんなで歌を歌ながら待っていると保育園にサンタクロースがやってきて、子どもたちは大喜び。みんなにプレゼントを持ってきてくれました。また、クリスマス会ランチはバイキングで好きなものを好きなだけ食べ、おやつはデコレーションケーキを食べ、大満足の子もたちでした。



野口保育所

新年が明け、いつもより長いお休みを満喫した子どもたち。年末年始でたくさんのお祝いが出たことでしょうか。そんな元気いっぱいの子どもの様子を少しずつですが紹介いたします。

運動会

10月13日に晴天の下、運動会を行いました。小さなクラスの子どもたちは、保護者から離れて涙する事もありましたが、保育士と一緒にかけっこをしたり、大好きな曲がかかると笑顔で体操をしたりしていました。また年中・年長児はたくさんのお客さんの前で緊張しながらも、プログラムをこなす姿は、たくましくかっこ良かったです。暑い中でしたが0歳児クラスから年長クラスまでかけっこや体操をしたり、保護者と一緒に競技をしたりとみんなで心地よい汗をかいて楽しく過ごしました。



さんま祭り

10月17日に秋の旬である魚の秋刀魚(さんま)を、今年も食育の一環として子どもたちの前で「塩焼き」や「蒲焼き」で焼いたり、以上児クラスの子どもたちは、お汁やおにぎり作りなどクッキングをして楽しみました。生のさんまをみると「魚の匂いはくさい」とか「こわーい」など感想は様々でしたが、焼き始めると美味しい匂いやお友達とクッキングする楽しさからか、何度かさんまをおかわりしたり、「塩焼きにカボスは合うなあ〜」など大人顔負けの会話も聞こえてきました。



親子遠足

10月25日に毎年恒例の親子遠足を行い、大型バスに乗って大分農業文化公園まで行きました。

大きなバスは中々乗れないので、子どもたちは「大きなあ〜」とウキウキしながら保護者の方や保育士と一緒に楽しくプチバスの旅を楽しみました。大分農業文化公園では、「秋を感じながら元気に歩こう」をテーマにスタンプラリーをしながらどろんぐりを拾ったり、お友達や保護者の方々と話しながら楽しく元気に歩いたりし

ていました。みんなで食べるお弁当はとっても美味しく、子どもたちもハッピースマイルでした。



発表会

例年冬の行事の為、感染症などでお休みしてしまう子どももいましたが、今年度は全員参加する事ができました。

可愛い衣装に保護者の方やお客さんから「かわいい〜」と声援をうけ、子どもたちはいつもの取り組みの成果を十二分に発揮し、踊りや歌・劇遊びなど自分なりに表現したり、お友達と協力して表現したりと楽しい発表会になりました。



クリスマス会

子どもたちが、毎年楽しみにしているクリスマス会！ 保育室や廊下・窓に飾られたクリスマス一色の雰囲気子どもたちは毎日ルンルンでした。会では、なぜクリスマスという行事が

できた由来を聞いたり、保育士と年長児が力を合わせておこなった「あわてんぼうのサンタクロース」のミニシアターを観たりしました。また保育士によるハンドベル演奏「ジングルベル」「北の国から」など、毎年違ったクリスマス会に子どもたちは、次は何をするのかな?と目を輝かせていました。

クリスマス会の会食では、全クラスが一つの部屋に集まり、年長児の「メリークリスマス!」の声でクリスマスランチがスタート! 友達同士や保育士とおしゃべりしたり、笑いあったり、笑いながら、「美味しい〜!」クリスマス会っていいなあ〜という声があちらこちらで聞こえ、思い出に残るクリスマス会となりました。



今年度も残り少なくなり1年を締めくくる行事がまだまだ控えています。子ども一人ひとりとしっかりと触れ合い、子どもたちが毎日楽しく幸せに過ごせるように、職員全員で頑張っていきたいと思っております。

本年もよろしくお願ひします。

施設長 本庄 智宏

職員一同

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は皆様の60年を超える継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の励みに大変大きな力となつておられることを嬉しく思います。継続してお支え頂く意思表示をされておられる「賛助会員」の皆様、喜びを分かち合おうとされておられるボランティアや一般の寄付者の皆様の上に神様の豊かな祝福がありますようお祈りいたしております。

〔2012年9月1日より2012年11月30日まで〕

2012年 賛助金

略号(左)：奈良女子大学同窓会・佐保会員
(一)：旧別府高女同窓会・二つ松会員

- 阿南 正則様 豊後大野市
- 安部 静子様 大分市
- 安部 伸子様 大分市
- 岩尾 玉枝様 杵築市
- 岩田 哲也様 大分市
- 加藤 勲様 別府市
- (有)コーワ精起様 東京都
- 貞閑 孝也様 大分市
- 生野佐津江様 大分市
- 杉本登美子様 杵築市
- 津田 眞五様 大分市
- 中村 ひさ様 堺市
- 橋迫 民子様 白杵市

2012年 一般寄付

- 長谷川和夫様 岡山県
- 長谷川士郎様 別府市
- 帆足 宗次様 別府市
- 帆足 隆哉様 玖珠町
- 帆足 琢也様 東京都
- 丸山 輝様 別府市
- 宮本 妙子様 別府市
- 森岡 律子様 瀬戸内市
- 矢永 尚土様 別府市
- 山口産業(株)様 別府市
- 山本 恭正様 別府市

2012年 改築寄付

- 安達 祥子様 別府市
- 池田 康雄様 別府市
- 江野川昌子様 別府市
- 辛島 陽子様 別府市
- 釘宮 英子様 別府市
- 佐藤産婦人科医院様 豊後大野市
- 匿名 名様 別府市
- 吉賀町民生児童委員協議会様 島根県
- 木付トト子様 大分市
- 別府不老町教会様 別府市

2012年 特別物品寄付

- 白杵煎餅等 足立睦也様
- さつま芋多量 諫山寛様
- ケーキ等多量 石村萬盛堂高城店様
- キーボード 市原幹生様
- みかん 上杉敬三様
- 野菜等 上田義賢様



苦情等相談窓口

*法人および各施設での苦情等は
下記の連絡先へご相談ください。

tel.0977-23-2827
fax.0977-23-7520
mail eikoen@grace.ocn.ne.jp

2012年 招待・奉仕

- 小・中学生学習指導 安東秀典様
- 絵本読み聞かせ等 お話ボランティア様
- 七五三着付け等 エッチ美容室様
- 七五三写真撮影 木村写真場様

- 米 釜口成男様
- 靴等 衛藤雅代様
- 野菜等 大分県農林水産部農地農振室様
- 梨多量 大分梨研究会様
- お菓子等 辛島陽子様
- パン ココラート様
- 柿 杉町圭蔵・千穂子様
- シヤンメリー 別府市
- 全国シヤンメリー協同組合様
- 野菜等 匿名 名様
- さつま芋多量 豊田緑化様
- 花の苗等 中島生花店様
- 洗剤・文具等 中村里子様
- 野菜等 フルゴスベルイエスキリスト教会様
- 五目ごはん多量 別府市社会福祉協議会様
- 炊き込みご飯・から揚げ等 別府中央ライオンズクラブ様
- パン多量 モコモコ様
- 米 本林敏治様
- 果物等 屋田和身様
- 里芋多量 山本宣雄様

賛助会員募集

年会費、一〇千円、但し、何口でも、分割も可。ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。

編集後記

栄光園の事業開始から60年目のこの年に職員の一員として子どもの養育に携わることのできる恵みを感じ致しております。目標設定したときの丸となつて進むパワーの大きさを実感しました。養護施設の小規模化での子どもとの関係性、少数職員での勤務体制、そしてすべての職員が食事作りに携わる激動の1年間であったかと思えます。その中で、60年誌の編纂、記念式典の段取り、職員の熱心さを見て子どもが育つような環境でもありました。全てが感謝ですが満足ではありません。皆様のご指導を切に望みつつ新しい年も希望に満ちて向上していきたいと願っております。よろしくご指導ください。(敏)

